

R5年度 大学院特別セミナー

# リンパ腫はどこから発生するか Histogenesis of Lymphoma

※Zoom配信あり※



リンパ腫の分類は、リンパ球の分化成熟段階に則っている。リンパ腫は、ヘマトキシリンエオジン染色による「形態」、フローサイトメトリもしくは免疫組織化学による「免疫学的形質」により診断されるが、いずれも腫瘍細胞の分化成熟を同定できる情報である。さらにNGS法は、分化成熟段階により異なる腫瘍発生を明らかにする情報になる。今回は、B細胞リンパ腫を中心に解説する。

講師：中村 直哉

東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 教授

日時：2023年5月19日(金曜日)

17時00分～

場所：薬学部研究棟Ⅱ 7F

セミナー室8

本セミナーは大学院の単位認定の対象となります。  
受講希望の際は、杉谷キャンパス学務課（内線：7657  
E-mail:mpin@adm.u-toyama.ac.jp）へご連絡ください。

担当：富山大学医学部病理診断学講座(内線：7503)